

2024年7月21日 神は、その人を背負ってこられた

先週の木曜集会に出席された兄姉と、C・H・スポルジョン【英】が1856年5月、祖父の在任五十周年記念式における説教の一部を読みました。

聖書箇所はイザヤ46:4です。「本人が自分のことを年老いていると考えるかどうかは、私にはどうでもよい。私は、六十才を越えた人、あるいは七十代や八十代の人を老人だと思う。老年期は、独特の記憶と、独特の希望と、独特の憂慮と、独特の祝福と、独特の義務がある時期である。だがしかし、こうしたすべてにおいて、人間は独特だが、神は同じであられる。

第一に、老年期は独特の記憶がある時期である。事実、それは記憶の時代である。老人は、何と独特の記憶を有していることか。いかに多くの喜びを思い出せることか。いかにしばしばその胸を歓喜と幸福に高鳴らせてきたことか。いかに多くの収穫祭を見てきたことか。いかにしばしば、その子どもたちはその人の回りで喜んだことか。いかにしばしば、その人自身の目が楽しみにきらめいたことか。いかにしばしばその人は主との甘い宴席に連なったことか。

いかにしばしばイエスとの交わりの時を有したことか。いかに多くの神聖な礼拝に出席したことか。いかに多くのシオンの歌を唄ったことか。後ろを振り返るとき、その人は神の数々のあわれみを幾千もつなぎ合わせることができる。そして、それらすべてを眺めてその人は、自分がくぐり抜けなくてはならなかった多くの困難についても考えを及ぼし、こう言うことができる。「まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来たものだ」(詩23:6)。神は、白髪になるまでその人とともにおられ、老年になるまでその人を背負ってこられた。その人が過去を振り返るとき喜びは、神がお変わりにならない証拠である。」

これは、私の心にとめたい説教です。

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」詩篇103:1~2

● あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがたがしらがになっても、わたしは背負う。わたしはそうしてきたのだ。なお、わたしは運ぼう。わたしは背負って、救い出そう。イザヤ46:4

● 今日の礼拝は谷口執事が礼拝メッセージですから感謝します。会堂と家庭が、オンライン礼拝で結ばれていることを感謝いたします。健康のすぐれない兄姉に主の良きお支えがありますように。ライブ配信は、晋一兄【責任者】。聖音兄(7月)、雄志兄(8月)、契悟兄(9月)が担当されます。

● 夏を迎え、今、新型コロナの感染が広がってきました。「愛知県は、11波に入ったと思われる」(知事)。熱があったり、体調のすぐれない兄姉、基礎疾患のある兄姉はためらわずオンライン礼拝に参加下さい。コロナが5類に移行し、忘れかけた教会内における三密の気配りを。

● 来週、火水木(7/30-8/1)は、「静岡県立三ヶ日青年の家」で、SSキャンプ【豊橋恵み教会】です。6教会92名。三ヶ日青年の家でのSSキャンプは5回目。高木兄と藤本兄が引率。契悟兄がゲーム係で参加を予定。9名(成人4名・児童5名)が申し込みです。山崎先生ご夫妻、各教会奉仕者、サウスサイド奉仕者、参加児童の祝福をお祈り下さい。

● 梅雨明けと共に暑い日がつづきます。植物部【香住姉】メンバーによる、平日も、毎日の水やりに感謝します。

● 今日の午後は班別集会(義岩兄)です。みことばと共に、8/10,11(土日)夏季キャンプ、10/6(日)榎本先生集会などの語り合いほか。昼食は姉妹たちがご用意下さいます。

● 先月(6/16)の班別集会【晋一兄・義岩兄】では、① 義岩兄よりお勧め。② 倉庫整理,3F ワックスがけ,児童部屋カーペット新調,窓枠ニス塗り。③ 礼拝時のプリント賛美の準備。④ 夏季キャンプについて。⑤ 礼拝時新来者への配慮について。⑥ 木曜集会後の茶菓費。等が語り合われました。

● 教会夏季キャンプは 8/10(土)、復活園ベテルハウスで BBQ【責任者・義岩兄】です。詳細は今日の午後、班別集会で。

● 西村兄は一週間の予定で帰省しておられ、今日は加古川教会に出席です。